

① 1次心臓検診のスケジュールの問題

心臓2次検診を7月第4土曜日に開催するには、7月第1火曜日の読影会、第2週の学校教諭への説明会がぎりぎりの日程ですが、現在、1次心臓検診は6月第4週まで実施されており、非常にタイトなスケジュールとなっています。

現在1次検診の心電図検査を委託している業者に来年度からのスケジュールについて少なくとも6月第3週までに心電図検査を終了頂けるように依頼しました。困難な場合、一部の学校の1次検診の心電図検査を木曜日の午後を利用して当方で行うことを考えています。

② 心電図の読影に関する問題

読影報酬に関して

昨年度は一部、本年度はすべての心電図の読影を私が行いましたが（読影会はほぼ、心臓検診の変更点の説明と2次検診の説明に使いました）、心電図の読影には、抽出のみでなく、2次検診で行うべき検査や2次検診当日の流れを決めた、本年度に作成したような成績表を人数分作成し、その全体の人数の把握とリストの作成、保護者、学校に宛てた招聘状の作成などをしないと、潤滑な2次検診ができないと考えられます。

本年度はこれらすべてを私が行いましたが、仮に数人で分担するにしても、本年度のような報酬では誰もしたくないと思います。私も今年度の報酬なら来年はしないうもりです。

報酬額の妥当性に関しての検証

以前（2018年4月18日メールにて）、頂いた参考資料によりますと、心電図読影の久留米医師会では、手当は判読人数×400円と交通費10000円で $1175人 \times 400 = 470000$ 円とのことでしたので、本年度当医師会の心電図1650人 $\times 400 = 66万円$ 、うきは医師会は校医5000円 $\times 25人 = 125000$ 円+心臓検診班20000円 $\times 7 = 14万円$ +久留米大学医師50000円=315000円、うきはは読影人数が約1000人とのことですので、当医師会に当てはめると $31.5万 \times 1.65 = 52万円$ となります。先生のメールでは基本20000円と記載されていましたが、学校医の読影料が含まれていません。

本年度は、当医師会の読影は（柳先生、梯先生、古川先生、権藤先生、工藤先生、渡辺先生、柳大三郎先生、富田） $37000円 \times 8人 = 29.6万$ +富田5000円 $\times 8 = 4万 = 37.6万円$ となり（最も、もともと14名51.8万を計上していました。来られなかった分は来た先生に還元してもいいと思いますが）、久留米医師会の57%、うきは医師会の72%、の金額となります。

更に、来年度からは、心電図読影会を循環器専門医のみで実施する予定です。浦江先生は2年間欠席されており、除外するとして、河内先生（今年は欠席）、権藤先生、工藤先生、柳大三郎先生、渡辺先生、富田、西原 Jr が加わったとして6-7名となります。

来年度からの心電図読影に関しては、他の予算との兼ね合いも重要ですので、たたき台を作ってみました。

上述したように、1日の読影会でしようとするれば、6人で手分けするとして、1人235人分の心電図読影と2次検診で行うべき検査の決定と成績表の下書き、など諸々考えると、3時

間程度の時間がいると考えられ、平日午後 7 時開始では 10 時と現実的ではなく、6 月第 4 週の午後に医師会に集合するか、逐次、心電図を各先生が持ち帰り、行って頂くなどの案が考えられます。現在 PC を利用していますが、2 台しかなく、PC を購入する予算もないため、久留米を含めた他の医師会同様に原本心電図の読影で行うことになると思います。235 人だと上述の計算では 400 円 x 235 人 = 94000 円ですが、各自自宅もしくは職場で行う場合は大幅に値引きして 40000 円（1 人 170 円の読影料）＋読影会参加費 15000 円としてみました。土曜日午後にする場合には、55000 円となります。更に、参加なれない先生がいた場合、その分は、他の医師の負担が増えることを意味するので、参加人数で割ることになります。割り当て人数はできる限り均等にするようにしたいと思います。

平成31年度			
収入			
委託料収入			2,708,164
支出			
支払報酬(心臓検診)			
グループ代表報酬	50000		50,000
1次検診心電図読影	40000x7		280,000
読影会	15000x7		105,000
2次検診医師報酬	42000x6		252,000
2次検診コメディカル報酬	9000x10		90,000
2次検診エコー技師報酬	27000x2		54,000
駐車場警備(3人分)			44,280
支払報酬(腎臓検診)			120,000
一次検診			785,000
消耗品費			160,000
心電計リース料			70,113
心エコーリース料			86,400
合計			2,096,793
	差額		611,371

私の報酬を別個に 5 万円頂くとして、約 60 万の黒字になりますが、これで、心電計などの次回リース費用をまかなうということでしょうか？

心電計は約 350 万とのことでしたので、6 年リースで償還できます。

本来、この費用は、貯めておくべきものだったと思われますが。

他にも、総括などありますが、来年度予算に時間がないとのことでしたので、とりあえず、私の試案を書きました。

ご検討をお願い致します。